

津軽広域連合 連合だより

〒036-8276

弘前市大字樋の口町 260-4

TEL 0172-39-7200

FAX 0172-39-7201

Eメール tugarukoiki01@net.pref.aomori.jp

平成 15年7月 第12号 発行 / 津軽広域連合

ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>



越 明男(弘前市)



成田善一(弘前市)



工藤勇治(弘前市)



山崎和也(弘前市)



工藤良憲(弘前市)



工藤榮彌(弘前市)



中田博文(黒石市)



村上隆昭(黒石市)



八木橋善美(平賀町)



小倉尚裕(浪岡町)

津軽広域連合議会議員

広域連合議会の議員は、広域連合を構成する市町村の議会議員の中から、それぞれの市町村議会で選ばれています。定数は20名(弘前市6名、黒石市2名、町村各1名)で、任期は市町村議会の議員としての任期となります。ここに、平成15年7月現在の広域連合議会議員を紹介します。(敬称略)



成田良一(板柳町)



藤田隆彦(大鰐町)



木村 証美(岩木町)



福士 照(藤崎町)



小田桐信勝(尾上町)



小野春吉(田舎館村)



齋藤剛一(常盤村)



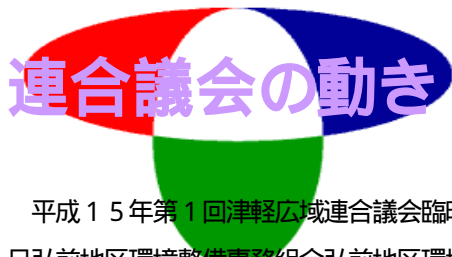
三上義信(西目屋村)



佐々木利正(碓ヶ関村)



山崎隆穂(相馬村)



平成15年第1回津軽広域連合議会臨時会が、7月4日弘前地区環境整備事務組合弘前地区環境整備センターにおいて開催されました。会議では、議長および副議長の選挙が行われたほか、議会運営委員会委員（定数6名）が5名選任されました。また、追加提案された、議会議員から選任する監査委員の選任ならびに議員派遣の件について、原案どおり可決されました。今回付議された事件の内容は次のとおりです。

議長の選挙 村上 隆昭 氏（黒石市）
副議長の選挙 齋藤 剛一 氏（常盤村）

議会運営委員の選任

委員長 山崎 隆穂 氏（相馬村）
副委員長 藤田 隆彦 氏（大鰐町）
委員 越 明男 氏（弘前市）
委員 成田 善一 氏（弘前市）
委員 中田 博文 氏（黒石市）
在任中の委員 小野 春吉 氏（田舎館）
監査委員の選任 工藤 勇治 氏（弘前市）

議員派遣の件

派遣目的：広域的な観光振興、地域情報化、保健福祉、
その他広域にわたる重要な課題に関する調査

派遣場所：益田広域連合（岐阜県）

派遣期間：平成15年8月27～29日

派遣議員：津軽広域連合議会議員全員

携帯電話対応ホームページ開設

広域連合ではこのほど、外出先でも情報を取り出せる携帯電話のインターネット機能に対応したホームページを作成しました。

情報内容は、外出先で取り出す必要性が高いものに限りました。

観光情報満載のコーナーでは、圏域で開催される今月のイベント、温泉やゴルフ場などの連絡先が検索できます。また、広域連合の公共施設予約システムを活用し、会議室などの予約状況を確認することもできます。

このサイトにアクセスするには、携帯電話にそのままURLを打ち込んでももちろん可能ですが、一般の津軽広域連合のホームページ（ ）からお使いの携帯電話にURLを記載したメールを送り、それを登録していただければもっと簡単です。

気軽に利用できるようになった津軽広域連合のホームページをぜひご活用ください。



携帯電話専用ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/p/index.htm>
一般の津軽広域連合ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>

第1回観光担当者研修会

観光にのこることを

第1回観光担当者研修会を平成15年7月11日、弘前市立観光館で開催し、行政や観光関連団体の担当者、観光ボランティア、観光に関心のある住民等約60名が参加して意見交換を行いました。

観光に携わる人々の情報交換、ネットワークづくりを始め、津軽を訪れる観光客のためにどう対応したらよいかを参加者自身が考え、自らの能力を高めることを目的としています。

【講演】読み聞かせや朗読のボランティアをしている弘前市の齊川紀貫世さん（右写真）の「とどけこころに ひびけことだま」と題した講演では、ボランティアを行う際には、誰のために行っているかを常に意識することが必要だというご提言をいただきました。聞き取りやすく、相手の気持ちをひきつける話し方も参考になりました。



【事例発表】津軽弁でわかりやすい弘前の観光ガイドを行っている女性グループ「アパ・テ・ドラ」の榎引梅子さんと奈良祐子さんによる事例発表を行いました。グループ名は津軽弁で「奥様お手をどうぞ」の意。予約制で、人数により1,000円から2,000円の料金で案内しています。お客様の楽しい思い出作りのお手伝いをモットーとした誠意のこもった案内は、多くのリピーター客の誘致につながっています。

お二人からはお客様とのふれあいのエピソードや失敗談のほか、研修会参加者をお客様に見たて、観光地をプロジェクターに映し出して案内の実演を披露していただきました。

【意見交換】津軽の観光の現場で感じる問題点等について、10グループに分かれて意見交換を行いました。参加者からは、「津軽人特有の表現下手に不快感を覚えるお客様がいらっしゃる。」「津軽弁を聞きたい、話してみたいというお客様も多い。柔らかく優しい津軽弁で積極的に

に話してはどうか。」といった津軽弁での応対に対する意見や、特徴のある加工品やお土産などの食に関する課題、交通アクセスの課題、全般にわたるPR不足等が指摘されたほか、「お客様にとっては市町村の枠は関係ない。」「広域で上手く連携した観光で相乗効果をあげるべきである。」という意見があり、広域で研修を実施した成果が期待されるところとなりました。

この結果を活用して、2回目以降の研修会（全3回予定）における問題解決につなげていくこととしています。



津軽の 名人・達人バンク

身近な名人・達人があなたの「学びたい」にお手伝いします。

われらが誇る津軽の名人・達人の“技”を紹介します。ちょっとした勉強会の講師に呼んでみませんか。興味のあるキーワードが見つかったら、津軽広域連合にご連絡ください。詳しい情報の取得方法や利用方法をお知らせします。

趣味・芸術

アートデザイン アートフラワー 編物
生け花 囲碁 園芸 押し花 おりがみ陶芸
織物（裂織） 音楽 音楽指導 楽器演奏 手工
芸
家庭園芸 華道 カヌー製作 着付 組紐 剣舞
工芸 盆栽 コーヒー教室 娯楽 昆虫飼育
山菜採集 詩吟・謡曲 社交ダンス 写真 将棋
書道 染色 煎茶道 調理実習 陶芸 籐工芸
演歌 日本民謡 俳句 帆船模型
フラワーアレンジメント フラワーデザイン

学術・教育

栄養学 演劇 家政学（食） 学校教育
家庭教育 漢字の語源 社会教育
生涯学習 障害児教育 女性教育
ストーリーテリング 青少年教育
接遇教育 地方自治 読書普及教育
乳幼児教育 歯学 話し方教育
物理・自然 文学 歴史 政治

生活・福祉

介護 調理 家事 家計
家庭生活 環境 住民参画
インフォームドコンセント
カウンセリング
ボランティア

スポーツ・健康

居合道 ウォーキング 運動指導
温泉の効用 健康維持管理 柔道
健康指導 生活習慣病 サッカー
野球 少林寺拳法 相撲 杖道
妊娠中の健康法 ヨーガ
ターゲット・バードゴルフ
病気の理解・治療

歴史・伝統・その他

ねぶた絵 金魚ねぶた 古文書解説
雪害史 津軽凧 津軽民謡 昔話
伝統芸能（能楽） 文芸 わら工芸
農業（食農教育） 果樹の繁殖
リンゴ栽培 リンゴの品種 リンゴ史

外国語・国際理解

国際交流 国際理解 日本語指導
中国語 中国事情 通訳（英語）

審査判定適正化委員会

津軽広域連合介護認定審査会では、関係団体より推薦を受けた150名の委員が30の審査分会に分かれて審査判定業務を行っておりますが、痴呆による問題行動がある案件など、時には非常に専門的な知識を要するものもあり、判定に苦慮することがあります。

そのため、そのような事例や疑義を検証・研究し、審査判定に悩まないための指針を定めるなど、審査判定業務の安定化および適正化をはかることを目的とし、平成15年度において**審査判定適正化委員会**を設置しました。医療、保健、福祉の各分野から3名ずつ選出し、計

14年度介護認定審査会審査判定状況

	4～9月	10～3月	計	割合(%)	月平均
審査分会開催数(回)	255	231	486		41
審査件数(件)	10,454	9,149	19,603	100.0	1,634
一次判定どおり(件)	7,781	6,645	14,426	73.6	1,202
要介護度変更(件)	2,643	2,479	5,122	26.1	427
再調査(件)	30	25	55	0.3	5

9名の委員によって構成されています。6月30日には第1回の適正化委員会を開催し、委員長に石戸谷忻一氏、副委員長に下田肇氏が選任されたのち、委員会の今後の運営内容やスケジュールなどが話し合われました。